

SPECIALLY DESIGNED FOR ASIATIC BLACK BEAR

ツキノワグマ 専用首輪

過酷な環境に耐える、専用設計。

LoggLaw G2RC / LoggLaw G2C ベース

実績ある「LoggLaw G2C」をベースに、
強化ベルト・電池容量2倍・ソーラー発電量2倍を実現。
長期モニタリングとデータ欠測防止を両立した、ツキノワグマ
専用GPS首輪です。



CONCEPT

過酷な環境に耐える 「ツキノワグマ専用設計」

DEVELOPMENT BACKGROUND

実績ある信頼のプラットフォーム「LoggLaw G2C」をベースに、ツキノワグマ専用モデルとして新規開発。クマ特有の**掻きむしりや樹木への擦り付け**、冬眠明けや悪天候による**データ欠測リスク**といった従来の追跡調査の課題を、本機は専用ハードウェア設計によって根本から解決します。

01

DURABILITY

専用強化ベルトで 脱落・破損リスクを低減

強化された専用ベルトを採用。クマ特有の掻きむしりや、樹木への擦り付けによる脱落・破損リスクを劇的に低減します。

強化仕様

対ツキノワグマ専用設計

02

LONG LIFE

電池容量を 約2倍以上に増強

従来比で電池容量を約2倍以上に増強。冬眠明けや悪天候時でも安心のスタミナを実現し、長期間のモニタリングを可能にします。

×2.0 以上

BATTERY CAPACITY

03

SOLAR CHARGE

ソーラー発電量 約2倍にアップ

搭載ソーラーパネルによる太陽電池発電量が約2倍にアップ。森林内や日照時間の短い山間部でも効率的に充電し、安定した位置情報取得をサポート。

×2.0

SOLAR
GENERATION

SPECIFICATION

製品仕様 | LoggLaw G2RC



FOR ASIATIC BLACK BEAR

LoggLaw G2RC

ツキノワグマ専用首輪 / BASED ON
LoggLaw G2C PLATFORM

信頼性の高いLoggLaw G2Cプラットフォームをベースに、強化ベルト・大容量電池・高効率ソーラーを統合。携帯通信網(LTE-M)対応によりリアルタイム監視と長期運用を両立した、ツキノワグマ専用モデルです。

項目	性能向上	備考
バッテリー容量	約 2 倍以上	長期追跡が可能(冬眠明け・悪天候時でも安定運用)
ソーラー発電量	約 2 倍	充電効率の大幅アップ(森林内・日照少時間帯でも充電)
ベルト強度	強化仕様	対ツキノワグマ専用設計(掻きむしり・擦り付け耐性)
通信方式	LTE-M	携帯電話網利用 / 低コストで広域カバーレッジ
監視プラットフォーム	Animal Portal	PC・スマートフォン対応 / クラウド型リアルタイム監視

▼ 設計のポイント: 本体カバーは耐衝撃樹脂、ベルトは耐摩耗性の高い強化素材を使用。ソーラーパネルを天面に最適配置することで、クマが伏せている状態でも採光可能な角度を確保し、**森林内での発電効率を最大化**しています。

3 STEPS

GPS首輪装着がもたらす 3つの利点

本機の真価は、装着後の「学習」→「監視」→「再学習」という3ステップによって発揮されます。殺処分にならない、共存型のクマ対策を実現します。

STEP

01

捕獲・装着と「学習」の実施

人里に出没したクマを捕獲・麻酔し、GPS首輪(LoggLaw G2RC)を装着。放獣の直前に、大きな音や忌避スプレーなどで「人里は怖い場所」という強烈な嫌悪体験(お仕置き)を学習させてから、奥山へ放します。

STEP

02

クラウドによる継続的な監視

山へ帰ったクマの位置情報を「Animal Portal」で常時追跡。本当に山に定着したか、再び人里へ向かっていないかを遠隔で24時間監視します。

STEP

03

ジオフェンスによる「再学習」の徹底

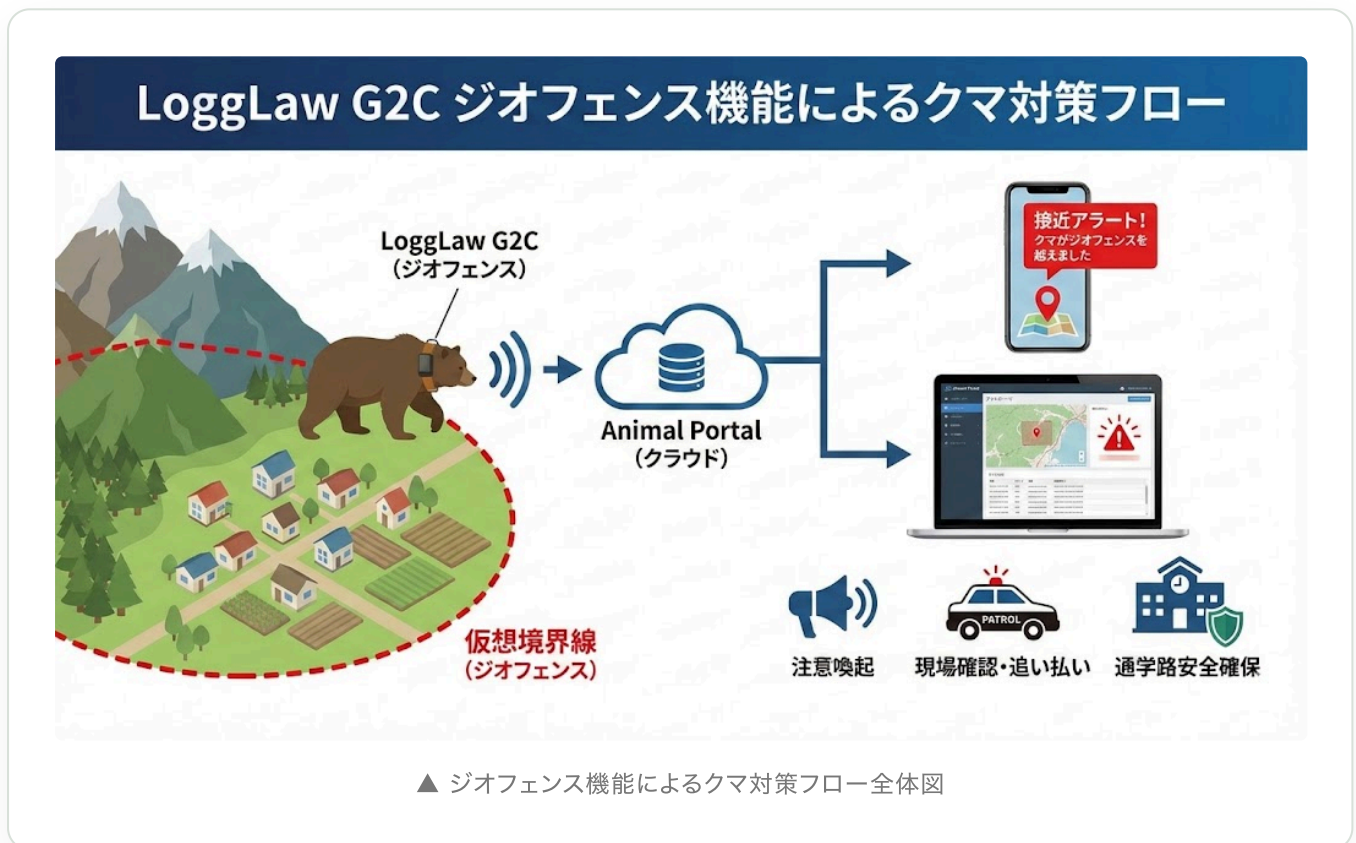
早期検知:万が一クマが戻ってきた場合、集落手前の「仮想境界線(ジオフェンス)」でアラートを即時発報。

即時対応:被害が出る前に現場へ急行し、花火等で追い払うことで「やはりここは危険だ」と再学習(リマインド)させ、人里への定着を防ぎます。

GEOFENCE FLOW

ジオフェンス機能によるクマ対策フロー

地図上に設定した「**仮想境界線(ジオフェンス)**」をクマが越えた瞬間に、クラウド「**Animal Portal**」を経由して管理者のPC・スマートフォンへアラートが発報されます。被害が発生する「**数キロ手前**」で対応開始できるのが、本機能の最大の強みです。



▶ 即時通知

スマートフォンに「**ジオフェンスアラート**」がプッシュ通知され、職員が庁舎・現場どこにいても初動を取れます。

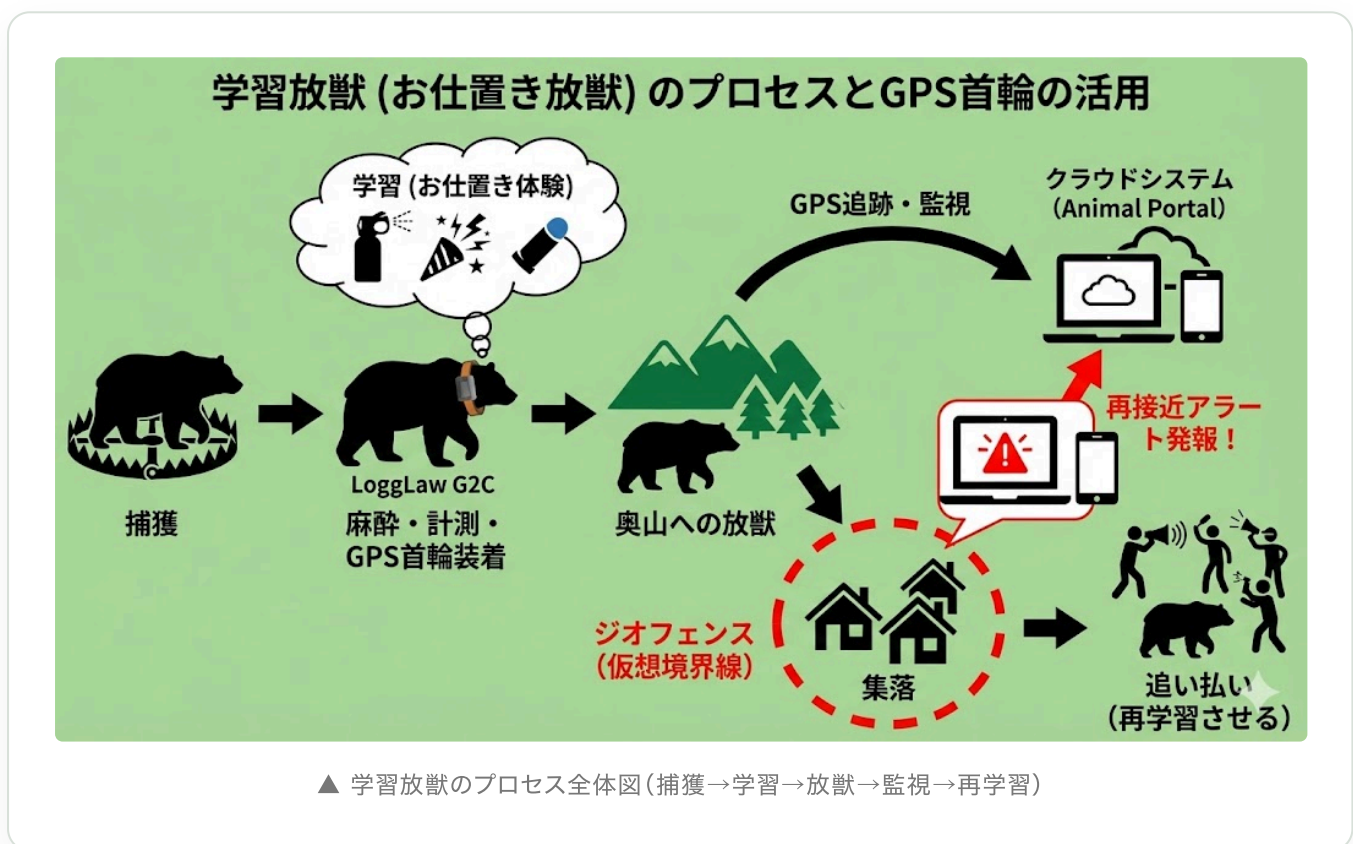
▶ 多面的な対応

注意喚起／現場確認・追いつい／通学路安全確保と、状況に応じた多面的なオペレーションが可能です。

LEARNING RELEASE

学習放獣(お仕置き放獣)のプロセスとGPS首輪の活用

捕獲したクマを殺処分せず山へ返す「学習放獣」において、GPS首輪は不可欠です。放獣後の継続監視と、再接近時のアラート発報により「人里に近づかないクマ」を育てます。



▶ 共存型の対策

殺処分に頼らず、「学習」によって行動変容を促す共存型のクマ対策を実現します。

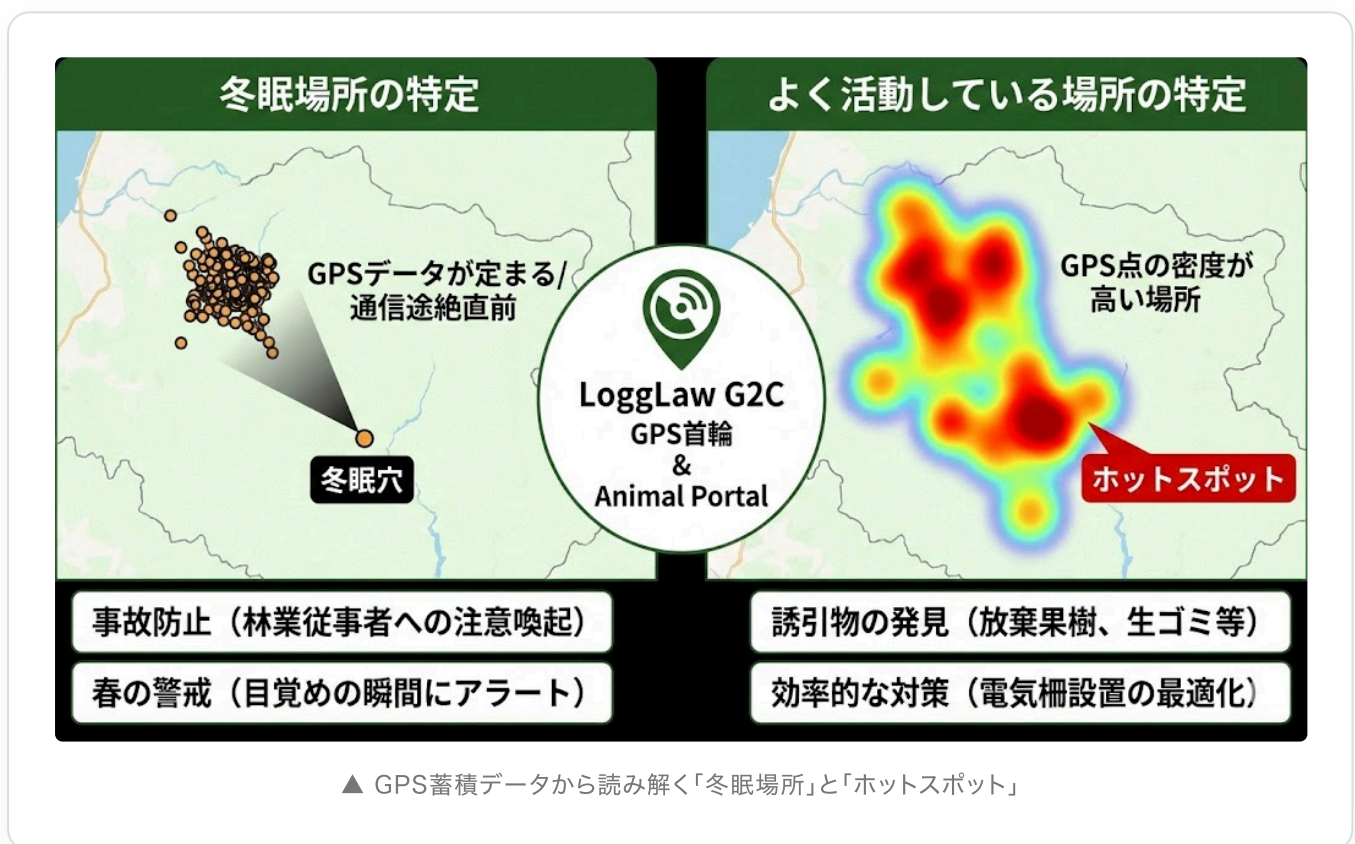
▶ 効果検証

放獣後の行動データを蓄積することで、学習放獣の効果を科学的に検証することが可能になります。

DATA UTILIZATION

蓄積データで実現する 「クマに強い地域づくり」

LoggLaw G2RCと **Animal Portal** が蓄積する行動データは、単なる位置追跡にとどまりません。**冬眠場所(デン)**の特定と**ホットスポット分析**により、地域全体の獣害リスクを科学的に低減します。

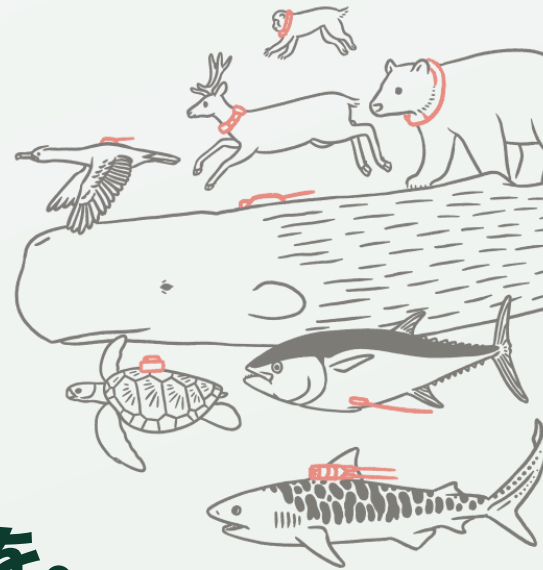


▶ 冬眠場所(デン)の特定

GPSデータが定まる／通信途絶直前の地点から冬眠穴を特定。**事故防止(林業従事者への注意喚起)**や**春の警戒(目覚めの瞬間にアラート)**に活用できます。

▶ ホットスポットの特定

GPS点の密度が高い場所を特定し、**誘引物の発見(放棄果樹、生ゴミ等)**や**効率的な対策(電気柵設置の最適化)**が可能になります。



CONTACT US

データに基づく、 科学的な獣害対策を。

ツキノワグマ専用首輪(LoggLaw G2RC)の導入をご検討いただける自治体・団体の皆様へ、
製品デモンストレーション・ご提案資料を無償でご用意しております。
まずはお気軽にお問い合わせください。

COMPANY INFORMATION



BIOLOGGING SOLUTIONS INC.

Biologging Solutions Inc.

所在地

〒603-8321
京都府京都市北区平野鳥居前町 54-4
プログレス北野 201

TEL

075-746-7858

E-mail

contact@biologging-solutions.com

Website

<http://www.biologging-solutions.com>